



たいふう ひがしがわ ひが い おお
台風の東側は、なぜ被害が大きいのか

ひがしがわ みぎがわ ふうそく おお
東側（右側）は風速が大きい

たいふう くうき おお つよ かぜ ちゅうしん む とけい はり はんたいまわ
 台風は、空気の大きくならずになっていて、強い風が中心に向かって、時計の針と反対回りにふきこんでいます。これは、地球の自転の影響で、中心に向かって、まっすぐにふきこむことができないからです。

たいふう すず ひがしがわ たいふう すず はや ちゅうしん くうき なが はや くわ ふうそく
 台風が進む東側は、台風が進む速さに、中心にふきこむ空気の流れの速さが加わり、風速が大きくなります。このため、台風が上陸したときには、台風の西側よりも、東側のほうが被害が大きくなります。

ふね たいふう ひがしがわ すず きけん
船が台風の東側を進むと危険

たいふう ひがしがわ にしがわ ふうそく おお ふね たいふう ひがしがわ すず たいふう ちゅうしん ぶ
 台風の東側は、西側よりも風速が大きいので、船が台風の東側を進むと、台風の中心部にまきこまれるおそれがあり、大変危険です。

たいふう にしがわ たいふう まえ すず はや たいふう ちゅうしん くうき なが はや う
 台風の西側は、台風が前へ進む速さと、台風の中心へふきこむ空気の流れの速さとが打ち消し合って、風速が小さくなっているため、東側よりは危険が少なくなります。

(監修・村山 貢司)

